

名古屋陶磁器会館でアイシングクッキー体験！

名古屋陶磁器会館で、「クリスマスで彩る陶磁器会館」という展示会と、アイシングクッキー体験という催しが行われていたので、子どもたちを連れて、クッキー作りにチャレンジしてきました。

名古屋陶磁器会館は、昭和7年、当時の名古屋陶磁器貿易商工同業組合の事務所として建設された建物で、輸出陶磁器業界の全国的主導権を握っていたこの地域のシンボルでした。

国登録有形文化財建造物であり、名古屋市景観重要建造物でもあります。場所は、東区赤塚の交差点から南東すぐにあります。19号線から見えにくく、少し、損をしているなあと思います。



写真の正面玄関は、レトロな雰囲気の入り口（アールデコ風？）で、デザインが洒落ています。2階にのぼると、「ALWAYS 3丁目の夕日」のロケでも使われた大きなホールが見られます。とても素敵な空間で、昭和の雰囲気を表す映画のワンシーンが蘇ります。次は、どんなシーンが撮られるのでしょうか？



1階の左手が展示コーナーになっていて、サンタクロースの輸出用陶磁器を始め、数々の陶磁器が室内狭しと展示されています。

ここで、アイシングクッキー体験を親子でしてきました。クッキーは、近隣の愛知商業高校「なごや文化のみちミツバチプロジェクト」の徳川はちみつを使ったものです。この上に、アイシング(粉糖と卵を混ぜたもの)を塗り重ね、装飾をほどこし、色鮮やかなクッキーに飾りあげるといふものです。これは、陶磁器の装飾の手法と似ているため、今回のイベントで企画したそうです。思ったより難しく、思い通りにはなかなかいきませんでした。子どもたちは思い思いの装飾を重ね、楽しい時間でした。写真は、私の作品で、見本とは程遠いけど、なかなか可愛いと自画自賛です。



名古屋陶磁器会館では、季節季節に、色々な催しが行われているようです。この地域の産業のルーツに触れるランブリングができます。機会があれば、是非どうぞ ♪



(TAMA (*^_^*))